

コウガイモ	<i>Vallisneria denseserrulata</i> (Makino) Makino	絶滅危惧Ⅱ類	
		トチカガミ科	
選定理由	生育地が限られているうえ、個体数が減少している。	写真(大塚英樹) 	
形態の特徴	茎は短く、長い送出枝を出して先に新しい株を形成する。葉は根生し、線形、長さ10-50cm、幅5-10mm。雌雄異株で、花卉は通常ない。雌花の萼筒は伸びず、裂片は3枚。雄花は萼片3枚あり、雄蕊は2本。		
生態的特徴	湖沼や水路などに生育する沈水性の多年草。花期は8-10月。		
分布状況	中国にも分布し、日本では本州と九州に見られる。岐阜県では県南の南西部にある。		
減少要因	開発による生育地の破壊と、水質悪化が考えられる。		
保全対策	生育地の保全と水質の改善。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘